

経営比較分析表（令和元年度決算）

栃木県 壬生町

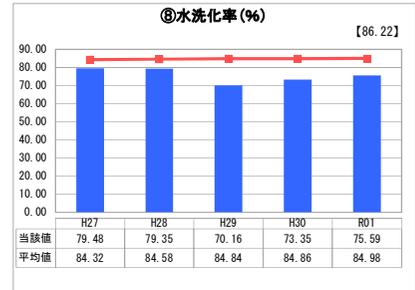
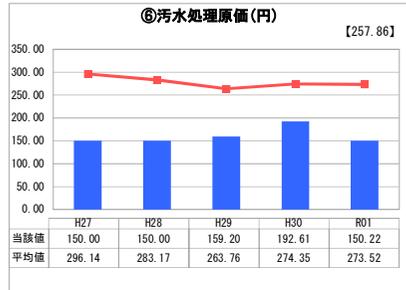
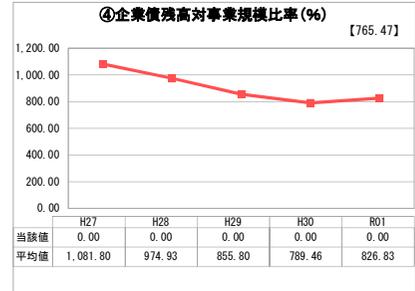
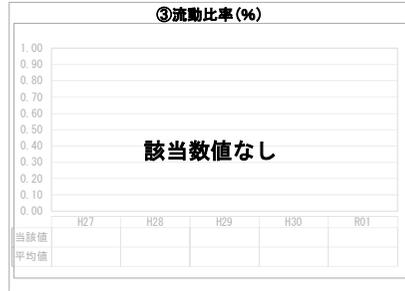
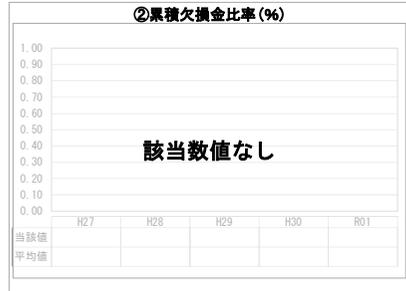
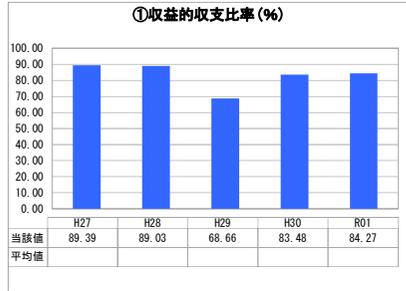
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	13.45	99.42	3,780

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
39,313	61.06	643.84
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,273	3.78	1,394.97

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

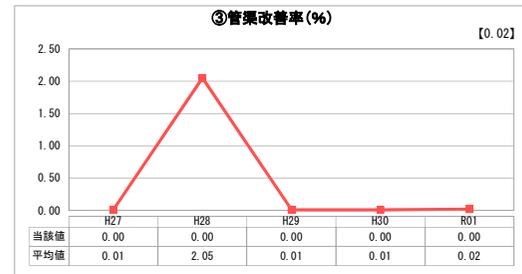
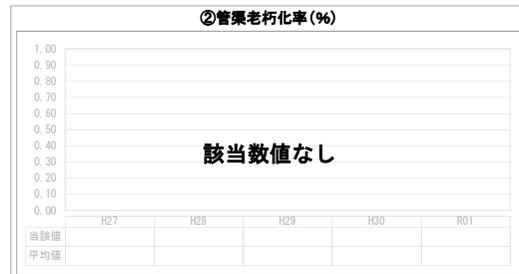
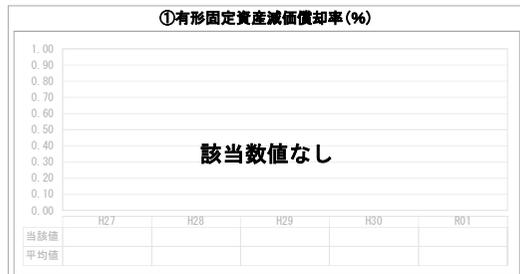
1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は平成29年に供用開始した地区の接続増加もあり、改善がみられています。企業債残高対事業規模比率は、平成30年度までは地区の整備が完了していたために減少してまいりました。しかし、令和元年度から令和5年度まで新規地区の整備を実施するため、企業債残高対事業規模比率の増加が見込まれます。経費回収率は前年度より増加しましたが、使用料収入だけで経営することは難しく、一般会計からの繰入金に依存している状況に変わりがないため、健全な経営に向けた取り組みが必要です。施設の利用率及び水洗化率の低さも相まって高い数値ではありません。適切な維持管理を行うためにも、施設利用率及び水洗化率の向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

管渠施設等は耐用年数を経過していないため、老朽化にはもう少し余裕があります。処理施設では、特に平成8年に供用開始した施設において、老朽化が進捗している機械設備が増加しているため、定期的な点検を基に、計画的に機械設備の修繕・更新を実施していく必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

壬生町の農業集落排水事業は、最終7地区目の整備を令和元年度から着工しました。現在、新規地区の整備と既存6地区の維持管理を実施していますが、施設の老朽化による改修費用の増大が見込まれます。汚水処理に係る費用を使用料で賄っていない状況なので、施設の修繕・更新を優先順位の高いものから計画的に実施するとともに、使用料の料金体系の見直しや施設の統廃合を検討し、経営健全化対策を進める必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。